

事業方針

政権交代という、これまで経験したことのない急激な政治情勢の変化は、国の政策決定や予算編成の在り方を大きく変えることとなりました。このことは、本市の基本構想・基本計画に基づく保健福祉分野のマスタープラン「健康福祉北九州総合計画」を始めとして、社会福祉協議会に対しても様々な影響が予測されます。

一方、経済・雇用関係が不安定な中で、社会福祉協議会への市民からの期待や関心は高まっており、本会が果たす社会的責任もより大きくなっています。そのため、経営的な観点からも一層の組織基盤、体制の強化を急ぐ必要があります。

また、平成22年度は、本会創設45周年という記念すべき年にあたるとともに、本会の活動指針である「北九州市地域福祉活動計画第三次計画」の最終年度にあたります。各事業を通じて、これまで築き上げてきた地域住民や関係機関等との協働のもと、地域福祉活動の点検・評価を行い、新たな地域福祉活動計画の策定に着手します。

本年度を更なる組織の発展・充実の契機とするため、特に下記の重点事項に沿って事業を遂行します。

記

北九州市地域福祉活動計画第三次計画「基本目標」

- I 地域福祉の理解を広げよう
- II 住民による身近な地域づくりを進めよう
- III 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう
- IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

北九州市地域福祉活動計画第三次計画「重点事項」

- 1 市民の地域福祉に対する理解の促進
 - 広報啓発の強化
 - 福祉教育の推進
- 2 住民による主体的な地域づくりの充実強化
 - 小地域福祉活動の活性化
 - 災害時の福祉救援体制づくり
 - 地域福祉活動計画の推進（新しい地域福祉活動計画の策定）
- 3 一人ひとりの多様な福祉課題の解決を目指す事業の推進
 - 権利の擁護と福祉サービス利用援助
- 4 各種社会福祉施設等との連携強化
 - 福祉等専門職の地域への参加、参画の推進
- 5 事務事業見直しによる効率的な社協経営の推進
 - 小地域福祉活動の活性化
- 6 推進基盤の強化
 - 校(地)区・区・市社協基盤整備

平成22年度 事業計画

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標 I 地域福祉の理解を広げよう

市民一人ひとりの日常生活上の問題に対して、問題を抱える当事者はもちろんのこと、同じ地域に暮らす市民として共感し、さまざまな問題・課題を分かち合い、解決に向けて動き出せるよう、地域づくりを行なうことが必要です。

そのため、地域福祉に対する理解を深めるとともに、一人でも多くの市民が関心を高めることができる取り組みを進めます。

目標達成のための取り組み

重 1 広報・啓発の強化

(1) 広報紙の充実と役割分担

- ・ テレビや新聞等のマスメディアの積極的活用 <全部署>
- ・ 広報紙の発行 <振興課・施設部・研修課・周望・穴生>
 - 「市社協だより」・「ひと&ひと」各年4回
 - 「ウェル新聞」年12回
 - 「周望新聞」年1回、「周望かわら版」年6回
 - 「穴生学舎新聞」年1回、「穴生かわら版」年5回
- ・ 民間社会福祉事業従事者研修会でPR <振興課>
- 新・ 企業における社会貢献活動の広報と啓発 <活動推進課>
- ・ ボランティア活動ガイドの作成（700部発行） <活動推進課>
- 新・ 市内の店舗等（スーパーマーケット等）の情報掲示板を利用したポスター等の掲示等 <福祉人材バンク>
- ・ 新聞折込を利用した有料広告 <福祉人材バンク・周望・穴生>
 - 周望・穴生 9万部
- ・ 啓発パンフレット等の発行（年1回更新） <周望・穴生>
- 新・ 商工会議所広報紙折込を利用した有料広告（8,000部） <周望・穴生>
- 新・ ポスター掲示場所（無料）の新規開拓 <周望・穴生>

(2) 出前講演活動等の効果的推進

- 重・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施 <全部署>
 - ・ ニュースポーツの出前講座（40回） <穴生>

(3) ホームページ掲載情報の整理と充実

- 新・ 「らいと」ホームページ活用による地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の周知及び広報 ＜権利擁護・市民後見課＞
- ・ 「ウエルとばた」ホームページを活用した情報発信 ＜施設部＞
- ・ ホームページを活用した福祉情報の提供(年6回程度更新) ＜活動推進課＞
- ・ 年長者研修大学校の講座、行事、高齢者ボランティアの情報提供 ＜周望・穴生＞
- ・ 年長者研修大学校、北九州穴生ドーム、夢追塾の三施設が連携したホームページによる利用者へのサービス向上 ＜周望・穴生＞
- ・ 生涯現役夢追塾の講座や卒塾生の活動情報の提供 ＜周望・穴生＞
- ・ 北九州穴生ドームの利用情報の提供 ＜周望・穴生＞

(4) 市民参加型啓発活動事業の推進

- 新・ 市社協創設45周年記念 (仮称) 市民ふれあいフェスティバルの開催 ＜活動推進課＞
- ・ 区社協ボランティア・市民活動センターボランティア交流会・フェスタの企画支援 ＜研修課＞
- ・ 年長者研修大学校をPRする短期自主講座(体験講座等)の開催(年間15講座) ＜周望・穴生＞
- ・ ニュースポーツの出前講座(再掲) ＜穴生＞

(5) 各種事業を通じた広報・啓発の取り組み

- 新・ 市社協創設45周年記念事業の実施 ＜全部署＞
- 新・ 市社協創設45周年記念表彰式典の実施 ＜振興課＞
- ・ 収益事業を通じた広報・啓発事業の取り組み ＜振興課＞
- ・ 「認知症サポーター養成講座」による福祉の風土づくり(養成目標 年間5千人、累計2万5千人) ＜地域福祉課＞
- ・ ボランティア活動ビデオ、機材の整備及び提供 ＜活動推進課＞
- ・ 市民講演会(年1回)やボランティア市民講座(まちづくりセミナー2回、傾聴ボランティア養成講座2回)の開催 ＜研修課＞
- ・ 区社協ボランティア・市民活動センター講座の企画支援 ＜研修課＞
- ・ 「ウエルとばた」の地域福祉活動拠点機能のPR ＜施設部＞
- ・ 年長者研修大学校・北九州穴生ドームの一般大学活用型授業や公開講座、出前講座、作品展、施設行事の実施による啓発活動の強化 ＜周望・穴生＞
- ・ 高齢者にかかわる資格・健康・娯楽等の情報発信・相談コーナーの設置 ＜周望・穴生＞
- 新・ 夢追塾のフォロワーセミナー、公開講座の実施による啓発活動の強化 ＜周望・穴生＞
- ・ 研修生・塾生募集にかかる有料広告の採用 ＜周望・穴生＞